

太子町コミュニティバス実証運行について

■目次

1. 太子町コミュニティバスの実証運行開始 …………… P1
2. 太子町コミュニティバス実証運行の概要 …………… P2
3. 評価方法・基準 …………… P4
4. 参考情報 …………… P7

太子町コミュニティバスの実証運行開始

6/1（月）より太子町コミュニティバスの実証運行を開始しました。同日、金剛バスの新規路線も運行が開始されました。

5/31（日）に両バスの運行開始に際して、運行開始記念のテープカットが行われました。（新型コロナウイルス拡大防止のため、人数を制限して実施）

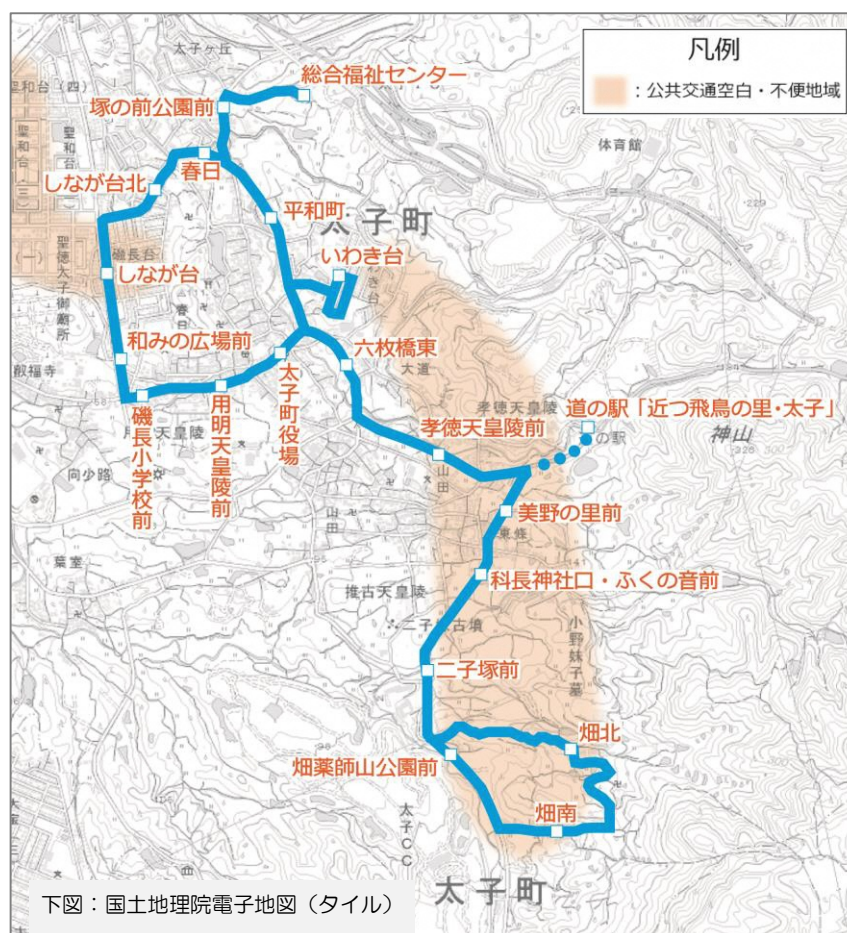


太子町コミュニティバス実証運行の概要

【運行日・時間】

運行日	全日（平日・土日祝でダイヤ・ルートが異なる）
運行時間	平日：6時19分役場発～19時18分役場着 休日：6時42分役場発～19時42分役場着
運行間隔	1時間に1～2本程度

【運行ルート】



※休日は総合福祉センター休館のため、塚の前公園前で折り返し。
また、休日は道の駅「近つ飛鳥の里・太子」にも停車。

【運賃】

金剛バスとの重複区間最大料金とあわせた、役場を中心としたゾーン別の定額運賃

- 畑・山田地区～役場：180円
- 役場～総合福祉センター：160円
- 両区間：200円

【運行ダイヤ】

概ね 1 時間に 1～2 本

- 畑・山田地区～役場：6 時-19 時頃 朝夕の駅利用者を重視
 - 役場～総合福祉センター：9 時-17 時頃 昼間時の総合福祉センター利用者を重視
- ※詳細は時刻表パンフレットを参照

【実証運行の期間（評価と見直し）《案》】

- 8ヶ月間（データ収集）+4ヶ月間（評価・見直し・周知）の1年間【基本】
⇒8ヶ月間のデータを以て、評価を実施する。路線やバス停位置、バス停の数、ダイヤ、公共交通支援制度等の運行計画に見直しが発生した場合、見直し検討・周知期間として4ヶ月間要するとし、12ヶ月後を目処に見直しを行う。
- 状況に応じた運行計画の修正【適宜】
⇒運行に支障が生じた場合や、緊急事態宣言等の社会情勢の変化により運行計画の変更が必要な場合は、検討・周知期間として1～3カ月要するとして、適宜計画の変更を実施する。
※緊急性によって、会長及び事務局で実施判断の可能性あり。

【今後のスケジュール《案》】

	2020年							2021年				
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
実証運行	●———▶											
データ収集	●———▶.....●											
評価									●———●			
見直し										●———●		
交通会議	●———●			●.....●						●———●		
周知											●———●	
需要喚起				○								

需要喚起策が行政主導のイベントとなるため、コロナ感染拡大防止の影響で、現段階では立案できない状況である。

評価方法・基準

【取得可能なデータ】

金剛バス	・バス利用実態調査（平休2日間を2回（予定））
コミュニティバス	・乗降人数 ⇒時間帯ごと、バス停別に取得可能
共通	・乗継割引券の利用状況 ⇒月ごとの利用枚数 ・お出かけ支援利用券の利用状況 ⇒月ごとの利用枚数 ・総合福祉センター利用者数 ⇒月ごとの利用者数 ・総合福祉センター利用者特別乗車証 ⇒月ごとの利用者数

その他、考えられる取得可能データ - ヒアリング調査、アンケート 等

【評価指標について】

- ・「太子町地域公共交通網形成計画」で挙げた評価指標（1年）

▼ 計画全体の評価指標

指標	数値目標	計測方法
公共交通の利用者数	【現況】 太子線、太子葉室循環線の乗車人数計 平日：700人/日 休日：520人/日 （H30年度調査結果） 【目標】 太子線、太子葉室循環線、新規検討路線（基幹交通・支線交通）の乗車人数合計 平日：1,000人/日 休日：700人/日	利用者数調査
収支割合	【目標】 新規検討路線の収支率：20%	支出・収入情報
他部局の評価	【目標】 他部局へのヒアリング まちづくりへの貢献度：8割以上	ヒアリング調査

▼ 各目標・施策に関する評価指標

目標	施策	指標	数値目標	計測方法
目標3 地域公共交通を活用した多様な人の交流	観光施設等との連携	観光施設の利用者数	【目標】 観光施設（年間竹内街道歴史資料館）公共交通での来訪者割合：10%	ヒアリング調査
	商業施設へのアクセス強化	商業施設周辺バス停での降車数	【現況】 商業施設の周辺バス停での降車数 平日：34人/日 休日：13人/日 （太子四ツ辻での降車数） 【目標】 商業施設の周辺バス停での降車数 平日：50人/日 休日：20人/日 （太子四ツ辻と商業施設周辺バス停での降車数）	利用者数調査

網形成計画（以下、網計画）策定時は基幹交通、支線交通を太子町が運行主体となることを想定していたが、策定後に金剛自動車により一部を担っていただけのこととなった。このことによって、網計画の評価指標を参考として、太子町コミュニティバスに関する指標、施策に関する指標を新たに設定する。

取得できるデータを踏まえ、以下の評価指標項目（案）を設定する。

■太子町コミュニティバスの評価指標（項目）《案》

網計画で挙げた評価項目（1年）で挙げた利用者数、収支割合に加えて、取得できるデータを踏まえ、評価項目を下表のように設定する。

これらの評価を実施し、太子町コミュニティバスの運行計画の見直しを検討する。

▼ 太子町コミュニティバスの評価指標項目

指標	計測方法	関連施策
1日の利用者数	利用者数調査	支線交通の確保
収支割合	収入・支出情報	
バス停の利用人数	利用者数調査	
総合福祉センターの利用者数	施設利用実績	高齢者等の外出支援の促進
総合福祉センターのバス利用者	利用者数調査	

■施策の評価指標（項目）《案》

網計画で挙げた評価項目（1年）で挙げた他部局の評価等に加えて、取得できるデータや網計画で挙げた他の評価項目を踏まえ、下表のように設定する。

これらの評価を実施し、太子町コミュニティバス運行計画を含め、各種支援制度など個別の評価・見直しを検討する。

▼ 施策の評価指標項目

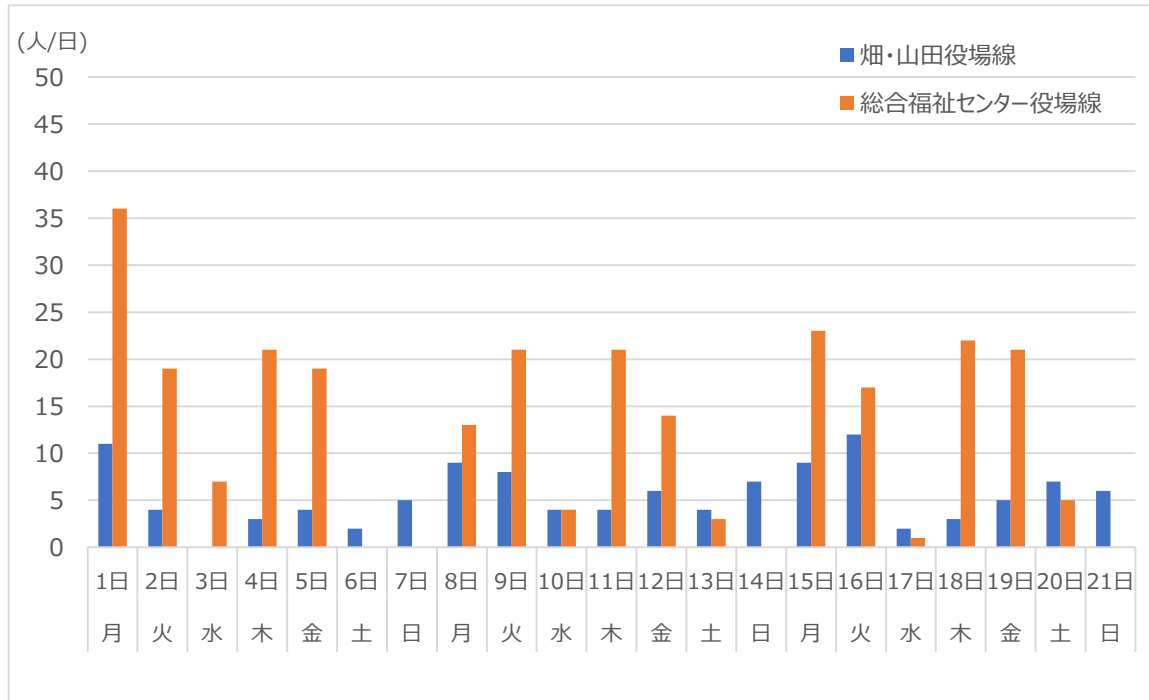
指標	計測方法	関連施策
他部局の評価	ヒアリング調査	計画全体
お出かけ支援利用券の利用回数	利用実績	高齢者等の外出支援の促進
乗継割引券の利用回数	利用実績	乗換拠点の強化
公共交通に関する意見交換会、検討会、会議等の回数	開催実績	継続に向けた体制づくり
情報発信回数	実績	モビリティ・マネジメントの推進
公共交通を利用するきっかけづくりの実施回数	実績	
教育機関と連携したイベントの実施回数	実績	
観光施設の来訪者の公共交通分担率	ヒアリング調査	観光施設等の連携
商業施設の周辺バス停での降車数	利用実態調査	商業施設へのアクセス強化

※新型コロナウイルスの影響があるため、上記の評価指標の具体的な数値目標は、3ヶ月程度の実績とそのときの社会情勢を考慮して設定する。

参考情報

【利用状況】（6/21時点）

太子町コミュニティバスの乗車人数



【現段階で挙げられる問題点】

- コミュニティバスの総合福祉センター役場線にダイヤの遅れが生じている。
⇒ダイヤの見直しが必要
- 行先を間違っ乗車する人やバス停名の変更に慣れていない人がいる。
⇒周知の徹底
- コミュニティバスの若い世代の利用が少ない。
⇒需要喚起
- 数か所のバス停周辺で路上駐車があり、運行の妨げとなる可能性がある。
⇒注意喚起